

第 4 4 回全国障害者技能競技大会

< 1 1 1 > ホームページ 当日課題

(1) 課題の概要

事前課題の作品に含まれる素材を活用し、競技時間内に新たな要件に従いウェブページを作成する。

(2) 競技時間

競技時間は 270 分とする（休憩時間除く。）。（4 時間 30 分）途中休憩：1 時間

・ 競技開始、終了は委員の指示に従う

・ 途中休憩時には、モニタ電源を OFF にする

(3) 禁止事項

- ・ 競技時間中に他人から指導や助言を受けてはならない。
- ・ 他の選手やスタッフの妨害をしてはならない。
- ・ 競技時間に遅刻、及び競技時間中に許可なく席を離れてはならない。
- ・ 故意に備品や機材等を毀損させてはならない。
- ・ 定められた競技時間・競技エリア以外で課題を実施してはならない。
- ・ 大会主催者が会場に用意した機器以外の機器を使用してはならない。
- ・ 競技中に、材料、用具類の貸し借りを行ってはならない。
- ・ 競技中に、スマートフォン等の通信機器（電卓機能の使用を含む）を使用してはならない。
- ・ その他、大会運営や競技実施に支障を来す恐れがある行為等をしてはならない。

(4) 注意事項

- ・ 競技前に、スマートフォン等の通信機器の電源を切り、かばんの中等にしまうこと。
- ・ 支給された材料の品名及び数量等が競技当日、競技委員から示されたとおりであることを確認すること。
- ・ 競技が終了したら競技委員に申し出ること。

(5) 作品提出方法

備え付けの USB メモリーに保存する。

故障等のリスクを回避するために、USB メモリーに適宜保存することを怠らない。

(6) 使用機器

ハードウェア及びソフトウェアは事前に告知したとおりである。事前に告知されたものと異なる場合は、選手は競技開始前までに競技委員に報告すること。

(7) 注意事項

- ・ 与えられたパソコンにインストールされているソフトウェアは、自由に使用して良い。
- ・ 市販の参考図書は原則として 1 冊までの持ち込みを認める。全部または一部を点訳したものでも構わない。
- ・ ノートやメモ紙の持ち込みは認めない。
- ・ 個人所有の USB メモリー等記憶媒体の持ち込みは認めない。
- ・ 何らかの違反行為が認められた場合は、失格となる場合がある。
- ・ 競技中に万一機器が故障した場合は、競技委員の指示に従う。

(8) 新たな要件

競技者は競技時間内に以下課題に取り組むこと。

要件：ホームページに以下要望が依頼されたことと想定。

1. パラスポーツ競技紹介の追加
 - ・事前課題では、パラスポーツ競技：ボッチャ 1 種類のみとしていたが、新たにボッチャ以外の種類のパラスポーツ競技を紹介するページを追加してください。
 - ・追加するパラスポーツ競技は 1 種類以上とする。
2. パラスポーツ認知向上を目的に体験イベントページ、フォームの追加
 - パラスポーツ認知向上を目的に体験イベントを開催することになった。
 - パラスポーツ体験イベント紹介、ボッチャ大会チーム戦申し込みフォームを追加してください。

・パラスポーツ体験イベント概要

障害のある人もない人も一緒に楽しめるプログラム。

開催日時：2024 年 11 月 24 日 10:00～15:00

場所：愛知県国際展示場（愛知県常滑市セントレア 5 丁目 10 番 1 号）

参加費：無料

プログラム：

- ・パラスポーツ体験、展示
 - ・ゲストによる競技体験やステージトーク、イベント
 - ・ボッチャ大会（チーム戦）
- 出場チームは事前申込制

課題 1 ワイヤフレームデザインの制作

以下対象ページのワイヤフレームデザイン制作

■対象ページ

- ・パラスポーツ体験イベントページ

要件に提示された内容、目的を理解し、閲覧者にとってわかりやすいレイアウト、情報設計に配慮したワイヤフレームデザインを制作。

- ・画像ソフト（AdobeXD、Photoshop）、PowerPoint、EXCEL または会場に用意された A4 用紙に描いたものの提出でも可。

課題 2 ページ制作

ワイヤフレームデザインを元にページを制作。

文章、キャッチコピー等などページ制作として競技中に対応する。

- (1) パラスポーツ競技紹介の追加
- (2) パラスポーツ体験イベントページの追加
- (3) ボッチャ大会（チーム戦）申込フォーム（実際にフォームが動作しなくてよい）

以下入力フォームとする。

チーム名

代表者氏名

連絡先 電話、E-mail

問い合わせ内容

- (4) トップページ更新

- ・パラスポーツ競技 更新情報、リンク設置などの対応
- ・パラスポーツ体験イベントページ バナーを制作し導線を確認。
わかりやすく、体験会参加、出場チーム募集を告知するようにすること

- ・レスポンシブデザインに対応すること。
- ・アクセシビリティ評価・対策を実施すること。

(9) 全体的な要件

- ・要件に必要なデザインレイアウト、情報設計力（基礎力）
- ・課題の最低限の仕様を満たし、HTML ソースは他人に見られることを前提にしている。（基礎力）
可能な限り HTML5 および CSS3 標準仕様に準拠する必要がある。
審査時には validator.w3.org による確認を予定。
- ・課題の仕様を満たす上で、適切な技術を用い活用している。（技術力）
- ・要件を適切に理解した上で競技課題を作成している。（提案力）
- ・障害の有無に関係なく誰でも利用できるように配慮されている。（アクセシビリティ）
- ・ホームページのインターフェースは人間工学的（≡使いやすい）で明確である。（ユーザビリティ、ユーザ体験）
- ・わかりやすいタイトル、文章など閲覧者につたわる文章構成。（ライティング）

以上